

「第72回 小平南西部地域コミュニティ交通をみんなで考える会」の報告

- 開催日時：令和5年5月10日（水）14時～15時15分
- 出席人数：会場7人（欠席10人） 傍聴：1人

1 令和4年度コミュニティタクシー・コミュニティバス乗車実績状況（報告）

公共交通課から資料1-①②に基づき説明

質疑なし

2 デマンド型交通の検討について

（1）デマンド型交通の考えについて

（2）再検討する内容について

公共交通課から説明

- ・南西部地域におけるデマンド型交通の考え方と今後について、資料2に基づき説明する。南西部地域におけるこれまでの検討経緯について、3つの実証実験運行を実施したが、いずれのルートも、目標値を下回り、地域の特性や道路交通事情等にコミュニティタクシーの運行システムが合致しない結果となり、現在、考える会で地域の実情やニーズに即した新たな交通手段として「デマンド型交通」に絞り、運行システム等について検討している。
- ・地域の状況としては、狭隘な道路が多く、生活圏が玉川上水や鉄道で分断されており、買物や通院先など目的や行先が分散している。
- ・デマンド型交通に絞る理由は、地域の特性やニーズを反映するために、運行方式や運行ダイヤ、乗降場所などを柔軟に設定することが可能な交通手段のためである。
- ・検討課題として、利用対象者については、対象要件の設定の有無、利用方法については、事前登録の有無や予約方法、運行エリアについては、エリアを跨ぐ移動ニーズへの対応、運賃及び目標人数については、利用見込みと運賃収入の適正な把握と継続運行へ移行する際の判断基準などがある。
- ・実証実験運行に向けた準備として、考える会では運行システム等を地域へ周知・PRするための検討及び実施、利用促進活動の検討及び実施をする。市の役割や取組として、実証実験運行に係る予算の確保・調整、運行事業者、警察署、国土交通省など関係機関との調整、運行システム選定に係る検討、継続的な運行へ移行するための利用者数や市の補助金額などの判断基準について検討する。

質疑

（座長）検討課題の具体的な検討については、次回以降進めていく。①利用対象者、②利用方法については、予約システムに関わることなので、公共交通課の提案により進めた方が良い。③以降については、順次検討を進めていく。

- ・東松山市のデマンドタクシーの事例を参考にしてはどうか。実証実験運行の時は、地域を絞って実施したが、継続運行に移行した際は市内全域へ拡大している。運賃設定は、タク

シー運賃と連動したものとなっている。

- (座長) 南西部地域では、コミュニティタクシーの運行システムが地域の特性に合わなかったので、デマンド型交通の検討を進めているが、デマンド型交通を全市的に広げることは、市全体の地域公共交通のあり方に関わってくることなので、ハードルが高いものとする。
- ・基本方針策定のためのアンケート調査の中で、駅や病院へ行く手段が求められている。
 - (座長) ぶるべー号利用者アンケート調査でも、駅や病院、買物を目的とする声があるので、それらは利用が多い場所として、昨年度検討する中で乗降場所の候補地として挙げている。
- ・スーパーマーケットや病院、駅に乗降場所を設定して、まずは地域内の移動を考える。その上で、鷹の台駅西側エリアについては、エリア外の乗降場所として、中央公民館を設定するかどうかについて、運賃設定も考慮しながら検討すれば良いと考える。
- ・予約受付方法が大切であり、なるべく費用が掛からない方法で、システムの選定ができれば良いと考える。
 - (公共交通課) 当初は、予約受付にはシステムを導入しないで進めることを考えていたが、補助金が活用できることが分かり、また、デマンド型交通を実施している他市の事例でも、システムの導入により、効率的な運行ができることから、システムの導入は必要と考える。システムを導入した際は、当初の導入費用だけではなく、継続的に運用するためのランニングコストが掛かるため、このランニングコストも含め、市の補助金額を算出する必要があることから、補助金額や運賃設定の検討も必要となってくる。
- ・実証実験運行に向けて、公共交通課では情報収集していると思うが、予約システムの選定を早く進めてほしい。地域の移動ニーズに合ったシステムを選定する必要があると考える。
- ・実際にデマンド型交通がどういったものか、体験してみるのが良い。
- ・利用するのは高齢者が多いと考えられるため、予約は簡単な方が良い。
- ・アプリによる予約だけではなく、コールセンターでの、電話による予約の受付ができると、高齢者も安心して利用するのではないかと。
 - (公共交通課) システムの選定については、専門知識を持ったコンサルタントの支援を受けながら進めていきたいと考えている。
- ・コンサルタントと調整するにあたっては、南西部地域の住民構成や、移動ニーズなどの基礎資料を示す必要がある。汎用性が高いシステムであれば、費用は安いので、まず実証実験運行を実施する際は、コストを抑えたシステムを使ってみるのはどうか。
- ・スマートフォンアプリの導入を検討するに当たっては、他市の事例を情報収集しながら、進めた方が良い。
- ・これまで長い間、考える会で議論してきたが、結果的に交通手段が確保されていない。デマンド型交通の実証実験運行についても、まだ実施時期の見通しが立っていないが、可能な限り早急に実施できるよう、市の役割をスケジュールに即して計画的に進むよう努めて欲しい。

3 その他

(1) 市からの情報提供

バスとタクシーのひろば in小平2023の開催について

開催日時：令和5年5月21日（日）午前11時～

開催場所：新東京自動車教習所

→開催内容の説明、ボランティアとしての協力依頼を行った。

(2) 参加団体からの情報提供

鷹の台団地小平自治会より

①三鷹市の「大沢地区デマンド型交通」について、三鷹市役所へヒアリングに行ったので、報告を受ける。

- ・大沢地区は狭い道路が多く、高低差がある地域で、高齢者が多い。
- ・以前はコミュニティバスが運行していたが、廃止となったので、代替手段としてデマンド型交通の実証実験運行を行っている。
- ・運行期間は、令和4年10月から1年間。
- ・運行曜日は、月～土曜日。
- ・車両は2台で、市内のタクシー会社2社で対応している。
- ・乗車定員は、6人（乗務員を除く）。
- ・運賃は、区域内が100円で、区域外（市役所、杏林大学病院等）が300円。
- ・スマートフォンのアプリからの予約、またはコールセンターで電話の予約を受け、AIの配車システムにより配車を行う。
- ・当日予約が可能である。
- ・不満はほとんど出ていないが、無料パスが使えないという声がある。

②5月28日（日）「鷹の台駅前商店街でお庭市」について紹介

《今後の予定》

第73回 令和5年6月14日（水）14時から開催

※場所 小川町一丁目地域センター 集会室3

次回は、デマンド型交通の実証実験運行に向け、検討課題について、考え方や、再検討する内容について、検討する。